

# すずたつ通信

人と企業を呼び込む東村山の営業部長  
ウィルコム(Y!モバイル)を再生させた男が行政経営に挑む!!



東村山市議会議員

## 鈴木たつお



<https://tatsuo.tokyo/>

### すずたつプロフィール

- マイクロソフト株式会社IT市場開発部長
- 株式会社ウィルコム(現ソフトバンク)法人事業本部執行役員事業本部長
- 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター客員研究員
- 産業能率大学大学院経営情報修士課程修了
- 法政大学大学院経営博士前期課程修了
- 東村山市本町在住
- 昭和44年5月14日東京生まれ

鈴木たつおは政務活動費を受け取っていません。  
議員報酬のみで議員活動をしています。

※政務活動費とは、地方自治法で定められた、「議会の議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費」

### すずたつ通信 vol.21

👉 令和7年6月定例議会報告  
みなさま、こんにちは。令和7年6月定例議会の報告をさせていただきます。今回の本会議(一般質問)では、**「秋津・新秋津周辺開発に**

**近隣市を巻き込め!**

**「行政評価シートの見直しをせよ!」**  
を質問させていただきました。

### 新久米川駅前構想実現に向けて

**FAX送信先 042-315-7399**

新久米川駅構想は、単なる交通の利便性の向上だけではなく、高齢化社会に向けた公共交通による南北の移手段や災害時の迂回ルート確保など多面的な機能が期待されます。新久米川駅を計画倒れにしないためにも、皆様の応援とご理解をお願い致します。新久米川駅を実現するために、ご賛同頂ける方は、下記にご署名ください。ご署名は、郵送・FAX・手渡しの外にQRコードからWeb経由でも承っております。



ご署名

ご住所

お電話番号

メールアドレス

[https://tatsuo.tokyo/seisaku/new\\_kumegawa](https://tatsuo.tokyo/seisaku/new_kumegawa)

@

Question① 秋津・新秋津周辺開発に近隣市を巻き込め!



鈴木議員

今回の予算で、新秋津・秋津の再開発のコンサルティング費用が見込んでいるが、近隣市とも調整しているのか、当市単独で行っているのかを伺う。

単独で行っている

本地域は、当市の最北端に位置し所沢市と清瀬市が隣接し当市は四分の一程度の面積である。周辺開発を行うには、単独でやっても効果は限定的である。お金をかけるなら、近隣市を巻き込まないと経済効果も広がらない。

行政が違うため、一緒に検討していくのは難しく、まずは東村山市で実施したい。

役所には行政線引きはあっても、周辺住民には行政線引きなどない。本来なら、予算も単独でやるのではなく、応分負担で近隣市も負担させるべきである。清瀬市と所沢市を巻き込み、魅力あるまちづくりを行政目線ではなく、市民目線で検討願いたい。



まちづくり部長

Question② 行政評価シートの見直しをせよ!



鈴木議員

今年度の目標である行政評価シートに予算化されていない「西武新宿線の東西線乗り入れ」が掲載されていた。モノレールは予算化されており、近隣市との調整が図られているが、本事業は予算化や、関係市区と調整はされているのか?

予算化はされていない。関係市区との調整もしていない。

秋津・新秋津の再開発において調整する近隣市は所沢市と清瀬市の二つであるが、この2市の調整だけでも出来ていない。「西武新宿線の乗入」は、いくつの市区と調整が必要であり、どのくらいの時間を要するのか?

関係市区との調整だけで膨大な時間を要し、予算負担を検討すると、もはや目途はつかない。

目途が立たない事業を単年度でどうやって、評価してPDCAをチェックするのか? 予算や期間を考慮して何を事業評価すべきか、現実的な評価シートを作成すべきである。

現在の評価シート作成ルールは総合計画を考慮して作成しており、単年度の評価シートにはなじまない。ご指摘事項を考慮して評価シートの見直しを検討したい。



まちづくり部長



地域創生部長

すずたつの情報発信 様々な媒体を利用し鈴木たつおの情報を発信しています。

やっぱり紙でしょう!! →→→→→この紙!「すずたつ通信」

総合的に鈴木たつおを知りたい!! →→→ Webがすずたつの情報量No.1

読みのも面倒だし手軽に!! →→→→→動画でYouTubeチャンネル / 画像でインスタ

NEWSは鮮度が命!今の鈴木たつおを!! → X(旧Twitter)でチェック

QRからコードから一括チェック!!



鈴木たつお公式LINEスタート!! <https://lin.ee/q70UmZ7>

幅広い年代で利用されているLINEを活用し、現在の情報発信媒体と連携して、きめ細やかな情報をタイムリーにお届けします! QRコードまたはURLから「友だち追加」を是非ともよろしくお願いします!